



森の世話人活動支援事務局からのお知らせ

2026年6月 Vol.62

2026年5月、6月（台風6号）強風後の活動地（周辺）の状況

森の世話人からの情報や巡視・点検時の写真です。倒木や枯れ枝の落下など危険が多くあります。台風通過後の活動時には頭上、足元には十分ご注意ください。



強風で根こそぎ倒れた木
(UCC活動地)



倒木や落下した枝が散乱
(西の交流の森)



風雨の影響で痛みの激しいアカマツ
(新井組活動地)

【活動報告】笑顔が広がる森づくり！東の交流の森 5月の振り返り

先月開催した「東の交流の森」での活動には、27人が集まり約半数の14人が初参加でした。活動後のアンケートでは、初心者からベテランまで全員が「確かな手応えや成長」を実感する結果となりました。皆さんの声を抜粋してご紹介します。今後も森づくりの輪をさらに広げていきます。

○満足度 UP! 初めての体験

木の伐採やネザサ刈り、山登りなど、普段できない作業を経験できた。

○安心度 UP! 丁寧な指導

ベテランの方が安全に配慮しながら教えてくれたことで、初心者でも安心して作業できた。

○森についての理解度 UP!

森の仕組みや管理の目的、災害対策としての役割などの丁寧な説明を聞き、学びが深まった。

○幅広い年代での交流度 UP!

初対面同士や世代を超えたメンバーでも、お互いに協力し合える雰囲気の中で楽しく作業できた。

○達成度 UP!

木を切った後の見違えるような森の景色を見て、自然の美しさと達成感を味わえた。

○森づくりへの意欲や継続度 UP!

また参加したい・自社でも生かしたい・森を良くしたいなど、前向きな気持ちが芽生えた。

クマについて

クマに出くわさないことが最も重要ですが、万が一に備え、習性と対策をまとめます。落ち着いて、冷静に行動しましょう。

【生態】

出没傾向：今の時期は大型や若い個体が、これまで出なかった場所に現れることがあります。若い個体は行動範囲が広く要注意です。

時間帯：日の出・日没前後は活動が活発。夕方～朝は人里でも注意が必要です。

特徴：視力は弱く離れると人を認識しにくいですが、嗅覚・聴覚は非常に鋭いです。

【出会わないための予防策】

音の出るもの：山林ではラジオや鈴を身につけ、人の存在を知らせましょう。



【もし出会ってしまったら】

安全な後退：距離があれば、手を振りながらゆっくり後ずさりして離れます。走って逃げるのは厳禁です。

クマスプレー：有効ですが、使い方に慣れておく必要があります。



未来を守る緑の六甲へ

